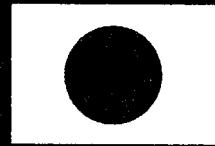


財源: 外科医の技術料(診療報酬)日



患者 Pt

保険料 premium
税金 tax

保険者 Insurer
国(政府)

支払い payment

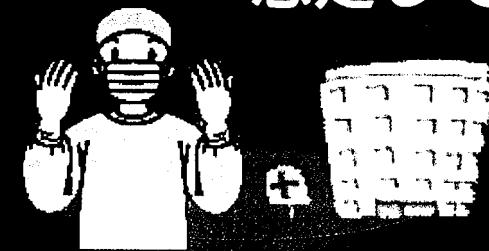
自己負担
Co-payment

診療報酬 Medical fee

支給率 1%以下

特定療養費、先進医療費を除く

小規模診療所
solo practiceを
想定して発足



医師 Dr
医療機関 Hosp

Dr feeと Hp fee の
区別はない
開業医・勤務医
の区別がない

財源: 外科医の技術料(診療報酬)米



患者 Pt

保険料 premium
税金 tax

保険会社 Insurer
国(連邦政府)

支払い payment
は二本立て

自己負担
Co-payment

診療報酬
Medical fee

ドクターフィー
ホスピタフィー



医療機関 Hosp



医師 Dr

健保併用制度と並んで、いろいろな支払い方法があります

保険者の支払い制限と過誤保険料の高騰

患者 Pt

自己負担
Co-payment

保険料 premium
税金 tax

保険会社 Insurer
国(連邦政府)

保険会社 PLI

医療機関 Hosp



医師 Dr

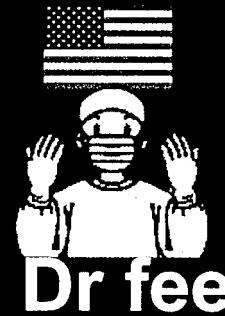
診療報酬
Medical fee
支払い拒否
増加

医療過誤保険料高騰

医療費のなかでの位置付け:外科医の技術料

1) 経常的費用 operating cost

- ・医師の人工費 (=技術料)
- ・医師以外の人工費
- ・材料費 (医薬品, 医薬品以外)
- ・経費, 教育費, 研究費



(歐州では勤務医は一種の固定財)



病院の経常的費用に含める

2) 資本的費用 capital cost

(投資的費用)

- ・土地, 建て替え費
- ・減価償却費, 賃貸料, 利息
- ・保険料, 租税



国民医療費に
計上されていない
公私間格差
補助金・借入金



米国の健康保険はいろいろ

Mで始まり混乱し易い！！

民間保険 70%

定職者

公的保険 25%
(政府管掌保険)

無保険者 16%

注：複数保険加入者も

1939～出来高払い保険：12%（請求額そのまま払う）

1985～マネージドケア 58%（管理医療）
HMO,PPO,POSなどの民間保険会社

メディケア 高齢者保険 13%

1965～フロリダ州では8割の高齢者がマネージドケアに自前で加入している

メディケイド 低所得者保険 12%

現役・退役軍人保険 0.1%

米国民7人に1人：4000万人

1) クターフィー

Flat sum system
(定額方式)

Capped fee system

Discount system

Fee for service

Employment system



Capitation (人頭請合診療報酬)

RBRVS (相対評価点数方式)

Fee schedule (診療行為別協定料金表)

Discount fee for service(割引出来高払)

Fee for service(出来高払)

Wages, waged for time(給与、時間給)

2) ホスピタルフィー

Flat sum system
(定額方式)

Discount system

Fee for service

Capitation(人頭請合診療報酬)

Per Diem(1日当たり定額支払)

DRG/PPS (診断群別定額支払方式)

Discount fee for service

Fee for service (出来高払)

診療報酬の支払いの形式は非常に複雑で、平均6人から7人の事務員を雇わないと診療報酬の請求事務ができない。



脳神経外科医の診療形態もいろいろ

Clinical practice status 米脳外科医：4000人



医師は病院から独立して開業、病院に出向いて技術提供を担う
大学病院の医師はDr feeは直接入らず、実績評価ボーナスとして
に入るシステムが多い。Private patientも診療できる
日本は自由開業制という自由があり、一般医として開業できる
米国の脳神経外科医は終生外科医、一般医にはなれない